

# か ま ゆ う 会

人  
人  
法  
人  
社  
会  
福  
祉  
法  
人

松涛会広報誌

No.76 新年号  
令和6年

## キッチンはまゆう 祝 2周年!

理念  
医療・介護・福祉の連携により、  
地域社会に貢献いたします。  
～あなたの歓びが私の生きがいです～

子との居場所・多世代交流の場  
キッチンはまゆう



### 松涛会理念

医療・介護・福祉の連携により、  
地域社会に貢献いたします。  
～あなたの歓びが、私の生きがいです～

### 目次

松涛会 理事長 年頭挨拶

安岡病院 院長 年頭挨拶

- ・今年度入職の医師・臨床栄養師からひとこと
- ・山の田内科 topics  
～糖尿病について・グループホームケアタウン山の田オレンジカフェ
- ・緩和ケア週間
- ・2023年度 リハビリテーション研究会
- ・安岡病院外来に訪問看護室ができました
- ・緩和ケア クリスマス会
- ・ミャンマー技能実習生
- ・海響マラソン 2023
- ・2023年度 QC活動 優秀サークル表彰
- ・令和5年度 松涛会永年勤続表彰者
- ・職場体験学習 安岡中学校2年生(社会医療法人・社会福祉法人)
- ・施設見学
- ・フロイデ金比羅「活用品バザー」
- ・しめ飾りを作りました

### 子ども食堂『キッチンはまゆう』

特別養護老人ホームはまゆう苑 課長 松谷 法史

2周年の記念行事として、代表者挨拶、そしてマジックショー。この日のメニューはチキンライスと唐揚げにシフォンケーキ。参加者は、子ども62人、大人33人、ボランティア22人で過去最高となりました。地域の高齢者も毎月楽しみにされています。会場では「お菓子釣り」も行われ、子ども大人も一緒に楽しみ、多世代交流となっています。

## 年頭挨拶

社会医療法人松濤会  
社会福祉法人松濤会 理事長 斎藤 妙子



明けましておめでとうございます。

今、「働く人がいない」…どこに行っても、どんな職業でも、この言葉をよく耳にします。人口がどんどん減ってくる一方、80歳以上が10人に1人となる今日、当然のことかもしれません。

誰しも年をとると、自分の足で通院するのが難しくなってきます。そこで、医師、看護師、療法士等の医療者が病院を出て自宅に伺い、その人の生活を支えることが大切となってきます。今までに病院から自宅へ、診療、療養の場は移行しつつあります。

私達松濤会には、医療を中心とした社会医療法人、介護を中心とした社会福祉法人とがあります。入所施設のみならず、ホームヘルパー等の訪問系、デイサービス等の通所系のサービスが備わっています。法人内の資源、人材をより有効に大切に活用することで、サービスの充実を図ると共に、働き手不足の課題を乗り越えていきたいと思っています。また、訪問診療、訪問リハビリテーションを更に進めつつ、管理栄養士、歯科医師、歯科衛生士も加わり、地域の皆さんのが“口から食べる”ことを広く支える目的で、認定栄養ケアステーションの開設を予定しています。

この病院で良かった、この施設で良かったと安心していただける様な医療、ケアに、職員一同今後も取り組んで参ります。

本年も、どうぞ宜しくお願い致します。

令和六年 元旦

## 年頭挨拶

社会医療法人松濤会 安岡病院 院長 楠美 由紀



明けましておめでとうございます。

年末、なかなかに衝撃的なニュースが駆け巡りました。今後国内の人口は、東京を除き、これまでの予想を遥かに上回るスピードで減少していくという国の推計でした。山口県に至っては、2050年までの約30年間で人口の30%以上が減少し、これは県の推定より10数年早いペースであるそうです。

働き手不足も増え加速していきます。限られたマンパワーを如何に効率的に活用していくかに、全ての鍵があります。各職種、各医療機関、各施設の垣根を取り払い、私達一人一人が同じ目的～患者さんの、その人らしい生活を最期まで支える～をもってつながることで、必ず突破口はあるものと信じます。

まずは、職員皆さんの気付きを声にして届けてもらえればと思います。それは、患者さんことを、自分のことともしくは自分の大切なひとのことと真摯に想像して出てきた結果でなければなりません。今年は、テーマをしぼり、一つ一つより具体的に検討していきたいと思います。患者さんことを我がことととらえて一緒に考え、実行していきましょう。

本年も、どうぞ宜しくお願い致します。

令和六年 元旦

## 今年度入職の医師・臨床栄養師からひとこと



山の田内科 院長  
村田 篤彦 先生

山の田地区の医療に貢献できるよう頑張ります。



安岡病院 整形外科医師  
甲 康成 先生

職業柄、薬を処方するよりも、引っ張ったり曲げたりする方が好きです。ただの接骨医ですがよろしくお願いします。



老人保健施設コスモス 医師  
村岡 俊春 先生

73歳の新人ですが皆さんに負けず頑張りますので宜しくお願い致します。



栄養ケア・マネジメント室  
社会連携ディレクター  
林 辰美 臨床栄養師

地域の栄養ケアの拠点「栄養ケア・ステーション」開設に携わっています。よろしくお願いします。

### 糖尿病について

山の田内科院長 村田篤彦



糖尿病は、膵臓から分泌されるインスリンが十分に働かないために、血液中を流れるブドウ糖が増えてしまう病気です。ブドウ糖はからだのエネルギー源で、インスリンの働きによってすみやかに細胞の中に入り、エネルギーとして消費されますが、糖尿病になるとインスリンが十分に働かず、血糖をうまく細胞に取り込めなくなるため、血液中のブドウ糖が増加してしまいます。そして、増え過ぎたブドウ糖は血管の壁にある内皮細胞に入り込み、その結果活性酸素が発生し、血管を傷つけてしまいます。この現象は体内のどこでも起こり得ますので、心筋梗塞・脳梗塞・腎不全などの可能性が格段に高まることになります。

治療としては、食事制限・運動などの生活習慣はもとより、インシュリンの効きを良くする内服薬による治療が一般的ですが、最近では GLP-1 受容体作動薬という、週に 1 回の注射でよい治療薬が脚光を浴びています。この注射薬はインスリンの分泌を促すほか、血糖を上げる働きをするグルカゴンの分泌を抑えるという、2 つの作用があり、この薬剤の登場により、現在多くの患者さんに使用されています。しかしながら、最も重要なことは食べ過ぎないことと適度な運動です。生活習慣に気をつけ、糖尿病とは無縁の生活を送りたいものですね。

### 山の田内科 TOPICS!



#### グループホームケアタウン山の田 オレンジカフェ

事業所長 保多盛 優子

オレンジカフェ山の田、11月の同時開催はマジックショー！見事な手品に歓喜の声が上がります。その後は、ホッと一息ティータイム。認知症介護のご相談も受け付けています。認知症であっても認知症ではなくても、“どなたでも”ぜひお越しください。毎月第3水曜日14時、ケアタウン山の田2階ホールでお待ちしております。

## 緩和ケア週間

安岡病院 西4病棟 師長 井上 恵美

10月14日(土)にホスピス緩和ケア週間に合わせて、一般の方対象に研修会を行い127名の参加がありました。緩和ケアを知って頂くために、看護師、ご遺族、セラピードックと歌のボランティアのそれぞれの視点から発表を行いました。緩和ケア病棟の見学会も行い、70名の参加がありました。今は、「がんになった時から緩和ケアがはじまる」といわれています。緩和ケア病棟は、患者さん・ご家族の思いに寄り添って、その人らしく生きることを支えていく病棟でありたいと考えています。今後も、より多くの方に緩和ケア病棟を知っていただけるように、緩和ケアに関わる多職種、ボラティアの方々と一緒に啓発活動を行っていきたいと思います。



## 2023年度 リハビリテーション研究会

リハビリテーション科 科長代理 三原 康孝

リハビリ科の各部門より4題の症例・研究発表があり、活発な質疑応答が行われました。患者さんに対して行なったリハビリの振り返りや意識調査など、自分の知識・考え方を発表する事で経験豊富なスタッフからアドバイスを貰い、様々な視点や気付きを得る良い機会となりました。先輩・後輩関係なく、お互いが切磋琢磨していくける部署を目指していきます。



## 安岡病院外来に訪問看護室ができました

安岡病院 訪問看護室 師長 藤田 美晴



訪問看護とは介護保険や医療保険を利用して、看護師がお住まいを訪問し、看護を行うサービスです。ご利用いただけるのは要支援、要介護の方、医師が訪問を指示した方です。

外来患者さんは療養者であると同時に生活者の面も持っています。将来の変化に備えた医療やケアについて皆様とともに繰り返し話し合いを行い、最善の医療ケアの提案をいたします。どうぞご気軽に相談してください。

## 緩和ケア クリスマス会

安岡病院 西4病棟 看護師 高田 智子

12月15日(金)にクリスマス会を行いました。栄養科手作りデザートの提供、緩和ケアスタッフによるハンドベルの演奏、ボランティアによる歌の演奏を行いました。いつもは閉眼している患者さんが手を大きく上げ、サンタよりプレゼントを受け取る姿は感動しました。

たくさんの方の協力で、患者さんに楽しい一時を届けることができました。



## ミャンマー技能実習生

9月にミャンマーより技能実習生を迎えていました。安岡病院の栄養科厨房で調理員として業務しています。今後も松涛会として実習生を支援していきます。



ニンニンスエ ジュライン プエ

## 海響マラソン 2023

### 「海響マラソン応援」

フロイデ金比羅グループホーム 管理者 植田 美千代

11月5日(日)、フロイデ金比羅前の沿道で、海響マラソンの応援を行いました。ランナーが目の前を通るたびに「頑張れ!頑張れ!」と大きな声援を送りました。声援を受けたランナーの方が「ありがとう」と言ってくれたり、手を振ってくれたりして、こちらも嬉しくなりました。ランナーとして参加した職員が通過した時は、その



日一番の歓声が上がりました。絶好の応援日和の中、楽しい時間を過ごせました。

### ジュライン プエ

安岡病院に入職して、日本語があまり話せないので不安でしたが、優しく仕事を教えてもらい、わからない時も詳しく説明してもらえたので嬉しかったです。

漢字も覚え、仕事にも慣れてきました。これからも一生懸命頑張ります。

### ニンニンスエ

ヤンゴンで8ヶ月日本語の勉強をし、今も日本語能力試験の勉強をしています。始めは仕事を覚えるのが大変でしたが、だんだん慣れてきました。入院している方の為に料理を作るのは素敵な仕事だと思っています。

頑張って働いて、重要な存在になれるように頑張ります。

リハビリテーション科 理学療法士 原田 力

途中で足が動かなくなる事もありましたが、目標達成の為に足を前に進め続ける事でゴールに辿りつき、努力して良かったです。

コスモス通所リハビリテーション 介護職員 神田 正直

今回はマラソンではなく、競歩に挑戦。走ることなく5時間23分で完歩しました。有難うございました。

グループホームフロイデ金比羅 介護職員 林 拓弥

今年は後輩と一緒に参加。32キロ地点で、残念ながら後輩は途中棄権。来年は一緒に完走したいと思います。

安岡病院 西2病棟 看護師 鈴木 雅子

下関海響マラソン救護として参加しました。気温25°Cの中、ランナーと共に過酷な状態でしたが、とても良い経験が出来ました。

リハビリテーション科 作業療法士 島本 周治

数か月前から月間走行距離130kmをこなして目標達成。サッカー、フットサル、テニス…などの競技よりもタフでしたが、努力が実り良かったです。

特別養護老人ホームはまゆう苑 係長 若松 栄一郎

練習は裏切らず、自己記録更新。新たな目標を目指して走り続けます。

## 2023年度 QC 活動 優秀サークル表彰

QC 委員会 三原 康孝

2023年度 QC 活動の優秀サークルの表彰が行われました。今回は、「経費節減」をテーマに全34サークルの参加がありました。どのサークルも、経費節減に向け工夫をこらし、仕組みを考え、データ集積等を行ない分析し、熱意を持って活動に取り組まれていました。そのことが個人個人の意識変化をもたらしている様にも思いました。

さて、見事に最優秀サークルに輝いたのは安岡病院薬局でした。「薬剤の廃棄を削減する活動」に取り組まれ、コスト削減において著しい成果を出されていました。受賞おめでとうございます!! また、参加して頂いたサークルの皆様、活動に協力された各部署の皆様、誠にありがとうございました。



## 令和5年度 松涛会永年勤続表彰者

### 社会医療法人

#### ●勤続 25年 4名

- 西村 直子 彦島ホームヘルパーステーション 訪問介護員  
心と技量を尽くし喜ばれる支援を目指します。
- 山下 純代 安岡病院 東3病棟 看護師  
今まで25年、今後もマイペースでがんばります。
- 下田 直子 栄養科 ケアタウンやすおか 調理師  
25年に感謝。楽しい思い出は私の財産です。
- 池田 かおり グループホームケアタウン山の田 介護職員  
初心忘るべからず 入社時の思い今でも忘れません。

#### ●勤続 15年 15名

- 中川 ひとみ 有料老人ホームあんしんホームやすおか 事業所長  
初心を忘ることなく、職務に精励致します。
- 嶺崎 耕司 サービス付き高齢者専用住宅ケアタウン山の田 事業所長  
15年は通過点、次は元気で定年デス。
- 黒川 京子 安岡病院 西3病棟 看護主任  
自分の役割をはたせるように努めます。
- 沖永 光代 安岡病院 東3病棟 看護師  
15年早かった。できる事をやって行きます。
- 堀田 麻友美 安岡病院 西3病棟 准看護師  
周りの支えで15年間働きました。今後も頑張ります。
- 藤川 幸子 安岡病院 西2病棟 介護職員  
これからも地域医療に貢献していきます。
- 鶴田 航也 安岡病院 リハビリテーション科 理学療法士  
多くの学び、経験ができた15年に感謝です。

### 松永 陽子

安岡病院 リハビリテーション科 作業療法士  
職員の方々に感謝し、日々精進していきたいと思います。

### 森永 友美

安岡病院 リハビリテーション科 理学療法士  
初心を忘れず日々笑顔で精進していきます。

### 田中 由紀子

安岡病院 栄養科 SK 調理員  
どんな仕事にも真剣で謙虚に取り組みます。

### 津田 里美

コスモス通所リハビリテーション 介護職員  
皆様に支えられ、勤続できたことに感謝します。

### 神田 正直

コスモス通所リハビリテーション 介護職員  
ご利用者に喜ばれるサポートを目指し、精進努力します。

### 岩本 典子

彦島ホームヘルパーステーション 訪問介護員  
培ったスキルに過信せず 精進してまいります。

### 奥村 眞耶華

彦島居宅介護支援事業所 介護支援専門員  
周りの支えがあって続ける事ができました。感謝でいっぱいです。

### 河村 浩子

やすおか KIDS 保育士  
日々感謝する気持ちを忘れないようにしたい。

### 社会福祉法人

#### ●勤続 15年 3名

- 盆子原 千枝子 脳いきいきデイサービスねぎ 介護職員  
気持ちを新たに、日々精進して参ります。
- 谷村 智子 特別養護老人ホームはまゆう苑 准看護師  
毎日を楽しんで一歩一歩大切にします。
- 木村 美喜江 グループホームフロイド彦島 介護職員  
これからも初心を忘れずに努力し仕事に励みます。

## 職場体験学習 安岡中学校2年生

### 社会医療法人

安岡病院 東2病棟 師長 藤野 裕美

安岡中学校の生徒さんが、医療スタッフの業務や患者さんとの交流などの職場体験を行いました。

「看護師は、肉体的、精神的に根性がいる仕事と思ったが、魅力的な仕事でもあると思った。」「患者さんと塗り絵や風船バレーをするのが楽しかった。ふれあいが大切と感じた。」等の感想がありました。

患者さんやスタッフも、元気で明るい笑顔と若いパワーをもらえ、貴重な2日間でした。



### 社会福祉法人

ケアハウスオリーブ 生活相談員 秋本 哲宏

11月8日、9日の2日間、安岡中学校の2名の生徒さんが職場体験学習を行い、掃除や配膳などケアハウスの業務を体験されました。

そして、2日目には入居者の皆さんと一緒に「どら焼き」を作り、完成したどら焼きを食べながら茶話会を行いました。入居者の皆様も久々に自分のお孫さんやひ孫さんの年代の生徒さんと会話ができ、大変喜ばれ、有意義な2日間となりました。



### 施設見学

11月10日(金)に岩手県の医療法人遠山病院より、常務理事の千葉俊祐様、栄養科係長の八木真由美様が安岡病院セントラルキッチンの見学に来院されました。



11月11日(土)に宇部市より社会福祉協議会の方15名が複合型福祉施設フロイデ彦島の見学に来られました。

## フロイデ金比羅「活用品バザー」

フロイデ金比羅 地域密着委員会 高橋 明子

11月25日(土)に4階集会場で4年ぶり3回目の活用品バザーを行ないました。今回初めて地域の婦人部の方が、別のブースで一緒に出品して下さり、一段と盛り上ぎました。

来場者は、地域住民の方が13名、入所者様・利用者様、ご家族、職員が91名。両手いっぱい買いたい物をされる方もいました。同フロア内に入所者・利用者様の作品展示も行い、大好評でした。「また来たい。楽しかった。」と皆様に楽しんで頂ける温かい空間となりました。これからも地域の方と交流の機会を作り「歓喜ある拠点」として頑張っていきたいです。



## しめ飾りを作りました

脳いきいきデイサービスねぎ 介護副主任 久保田 瑞恵

毎年の暮れは、しめ飾りを作成。

日本の伝統に触れながら藁を編み、利用者個々に装飾します。世界に一つの自分だけの縁起物を作りながら、一年を振り返り感謝するとともに歳神様をお迎えできるよう願っています。



## 看護師・介護士・保育士・調理員募集 (介護士・調理員は資格のない方もOKです。)

問い合わせ先

**お気軽にご相談下さい。**

●社会医療法人松涛会安岡病院 担当 / 人事係 安岡病院

☎083-258-3711

●社会福祉法人松涛会はまゆう苑 担当 / 法人事務局 はまゆう苑

☎083-258-3800